



# Flash News

三重大学

第80号

## 目次

- インフォメーションセンターオープン
- 第13回環境コミュニケーション大賞  
「環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞
- 「平成21年度三重県との定期懇談会」を開催
- 学長表彰
- 鈴鹿医療科学大学との連携協議会
- 平成21年度第1回環境プログラム修了証書授与式

## お知らせ&ご報告

- 附属病院から
- 附属図書館から
- 国際交流センターから

- 「隣接学校園との連携を核とした教育モデル」報告会
- 第3回三重大学・鈴鹿医療科学大学合同公開講演会  
「食と健康を考える」
- 女性研究者支援講演会  
「米国PhDとその後のキャリア～私の場合～」
- 松阪港実習船基地を視察

## インフォメーションセンター オープン

3月15日、本学正門横に、学外からの来訪者や地域住民の皆様とコミュニケーションを図るための総合受付と広報拠点として、インフォメーションセンターを設置しました。施設やイベントの案内、本学や地域の情報誌およびキャンパスマップの配布などを行います。開所式では、内田淳正学長の挨拶の後、テープカットを行いました。三重大学カレーや学長バウムクーヘンなど、大学ブランド商品の展示即売会や附帯施設農場の農産物販売もあり、多くの人々で賑わいました。

(写真左から坂口 力事務局長、内田淳正学長、登 勉副学長)



## 第13回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞



本学が作成した「環境報告書2009」が、環境省と(財)地球・人間環境フォーラム主催の標記大賞を受賞しました。内田淳正学長の緒言「世界一の環境先進大学を目指す」を実行に移し、環境活動を推進していることがよく理解できる報告書であると高く評価され、本学の環境報告書2006、2008に続く快挙となりました。3月1日、東京虎ノ門ニッショーホールにおいて表彰式が開催され、小沢鋭仁環境大臣出席のもと、朴恵淑学長補佐(環境ISO担当)が表彰状を受領しました。

## 「平成21年度三重県との定期懇談会」を開催

2月15日、三重県庁において、内田淳正学長、野呂昭彦三重県知事をはじめ関係者の出席のもと、標記懇談会を開催しました。地域医療体制の確保、新県立博物館の整備、美し国おこし・三重の取組、地域産学官連携の取組等について具体的な意見交換が行われ、本学と三重県が積極的に連携協力関係を深める有意義な懇談会となりました。



## 学長表彰



大村佳之さん 内田淳正学長 松浦信男さん

医学系研究科博士課程3年の大村佳之さんは、平成21年度日刊工業新聞社主催の第7回キャンパスベンチャーグランプリ中部エリア大会にて、特別賞名古屋商工会議所会頭賞を受賞しました。同博士課程2年の松浦信男さん(万協製薬株式会社代表取締役社長)は、2009年度日本経営品質賞(中小企業部門)を受賞しました。

また、日本拳法部は、昨年9月27日に大阪・阿倍野スポーツセンターで行われた、第41回全国国公立大学日本拳法選手権大会において、準優勝という好成績を収めました。これらの栄誉を讃え、3月1日に学長表彰が行われました。



**鈴鹿医療科学大学との連携協議会**

2月24日、学長室において、標記協議会を開催しました。「三重大学附属病院での統合医療実践の具体的な方法」「鈴鹿医療科学大学薬学部学生の特重大学附属病院での実習」「両大学の研究施設・分析機器等の共同利用」等について積極的な意見交換が行われました。今後、これらの連携事業の詳細について担当理事等の間で検討していく予定です。

**平成21年度第1回環境プログラム修了証書授与式**

本学では、平成20年度から大学全体で環境教育に取り組むことを目的として、「環境資格支援教育プログラム」を構築し、実施してきました。平成21年12月に各学部から5名の学生が修了者となり、2月17日に修了式が行われ、最高環境責任者である内田淳正学長より一人ひとりに修了証書が授与されました。3月31日には、さらに11名の修了者に修了証書が授与されます。



**「隣接学校園との連携を核とした教育モデル」報告会**

2月19日、メディアホールにおいて、平成21年度文部科学省大学教育推進プログラムに採択された標記事業の報告会を開催しました。21年度に実施された連携活動のうち25の活動について、学生と大学教員によるポスター発表や11の連携学校園による活動報告および総合討論が行われました。参加者171名は、学生の実践的指導力を高める教育が着実に進んでいることを知り、有意義な報告会となりました。

**第3回三重大学・鈴鹿医療科学大学合同公開講演会「食と健康を考える」**

3月7日、鈴鹿医療科学大学JART記念館100年記念ホールにおいて、標記合同講演会を開催しました。鈴鹿医療科学大学の岩島誠教授・薬学部より「食品中の機能性物質について～薬食同源を考える～」のほか、本学の鈴木宏治理事・副学長、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の堀江秀樹氏・野菜茶業研究所、鈴鹿医療科学大学の長村洋一教授・保健衛生学部より講演が行われました。200名を超える参加者は、講演に熱心に耳を傾け、食品をバランスよく摂取することが大切であるとの認識を深めることができました。

**女性研究者支援講演会「米国PhDとその後のキャリア～私の場合～」**

3月8日、ベンチャービジネスラボラトリーにおいて、「教育研究高度化のための支援体制整備事業」として標記講演会を開催しました。講演会では、オスラム・オプトセミコンダクター社（ドイツ）の平井朝子氏が、カリフォルニア大学に留学した動機や海外の大学・企業における女性研究者の実情などについてインタビュー形式で話されました。鈴木宏治理事・副学長、小林英雄工学研究科長、小川眞里子女性研究者支援室長をはじめ、女子学生など約40名が参加されました。女性研究者が活躍するための環境づくりの重要性を認識する良い機会となりました。



平井朝子氏

**松阪港実習船基地を視察**



3月8日、改修された生物資源学研究科附属実習船基地（船具庫兼作業場）の視察が行われ、内田淳正学長および理事や関係者、多くの教職員が参加しました。この施設は、実習船の後方支援施設として昭和56年に建設され、教育・研究になくてはならない施設として活用されています。新「勢水丸」の大型観測・漁労機器に対応するため、作業場に大型クレーンを導入、また老朽化した学生控室や事務室、トイレなどの改修を行いました。視察会では、田中晶善生物資源学研究科長の挨拶の後、施設部から改修内容について説明がありました。

**お知らせ & ご報告**

附属病院から 1月26日、がん患者さんご家族を支援するリボンズハウスが附属病院1階にオープンしました。

附属図書館から 2月8日、附属図書館1階の視聴覚資料コーナーがリニューアルしました。

国際交流センターから 《学長表敬訪問 & 大学訪問》

○タシケント国立立法科大学（ウズベキスタン）・・・大学間協定  
1. 日 時：平成21年11月10日（火）14：30～15：15  
2. 訪問者：ディリシャッド・ユスポフ副学長、フルハノフ・アクマル名古屋大学・ウズベキスタン事務所副所長  
3. 同席者：松岡理事、江原学長補佐（生物資源学研究科教授）、櫻谷人文学部長、樹神人文学部教授

○安徽農業大学（中国）・・・生物資源学部・部局間協定  
1. 日 時：平成21年11月18日（水）10：00～11：00  
2. 訪問者：程备 久（Cheng Beiju）副学長、他4名  
3. 同席者：松岡理事、江原学長補佐（生物資源学研究科教授）、王生物資源学研究科教授

○イロアメリカーナ大学（ドミニカ共和国）・・・医学部・部局間協定  
1. 日 時：平成21年11月27日（金）10：00～10：30  
2. 訪問者：マルコス・ヌニェス医学部長、ダビッド・エルナンデス医学系研究科長  
3. 同席者：ガバザ医学系研究科教授

○ハルオレオ大学（インドネシア）  
1. 日 時：平成21年12月14日（月）14：00～15：00  
2. 訪問者：ウスマン・リアンセ学長、他3名  
3. 同席者：松岡理事、江原学長補佐（生物資源学研究科教授）

○平成21年度（第22回）「世界青年の船」事業参加外国青年一行  
1. 日 時：平成22年1月14日（木）13：00～13：30  
2. 訪問者：事業参加外国青年  
・オマーンの青年 11名（NL1名含む）  
・オーストラリアの青年 11名（NL1名含む）  
・随行者 内閣府1名、三重県健康福祉部こども局こども未来室1名、財団法人青少年国際交流推進センター1名、日本青年国際交流機構4名  
3. 同席者：松岡理事、花見国際交流センター教授、朴人文学部教授

○イロアメリカーナ大学医学部（ドミニカ共和国）・・・医学部・部局間協定  
1. 日 時：平成22年1月22日（金）9：00～9：30  
2. 訪問者：医学部5年生2名、（レイス フェリッパ ガルシア、ペルラ アルタグラシア タベラス）  
3. 同席者：駒田医学系研究科長、ガバザ医学系研究科教授

○「国際協カインシアティブ」教育協力拠点形成事業実施者  
1. 日 時：平成22年2月22日（月）9：00～9：30  
2. 訪問者：①ラオス健康科学大学（ラオス）カンバン・プラバソン医学部地域医療部部長、アノソワン・サナフェイ医学部地域医療部部長代理  
②ムンピリ健康科学大学（タンザニア）・・・医学部・部局間協定  
アンナ・テンギア・ケシー公衆衛生社会科学部地域医療学講座責任者、シモン・マムヤ公衆衛生社会科学部講師  
③コンケン大学（タイ）・・・大学間協定  
タンティップ・タムロンワラングンウボンラット病院医師、医学部4年生3名（アフィサラ・タムロンワラングン、ウイサコン・ウオンウィスーク、クワンルエタイ・ナムパディヤナン）  
3. 同席者：武田医学系研究科教授、安藤医学系研究科特任教授

